

2016年 第43号 発行 橋本 和子



すずらんジャーナル

船橋市議会議員

はしもと 和子

市民相談はお気軽に 公明党控室 436-3032

希望の未来へ!あなたと市政のかけ橋に

『笑顔で・誠実・迅速に』をモットーに『笑顔の庶民派NO. 1』

を目指し、現場を歩き、対話に動いてまいります。

指定管理のデイサービスセンターを視察しました。



健康福祉常任委員会に付託をされた議案審議のために、指定管理者制度で行われている【南老人デイサービスセンター】

【三山老人デイサービスセンター】

を委員会で視察しました。



【指定管理者制度とは】  
公の施設の管理を、市の出資法人や公共的団体に  
限らず、民間事業者も含めた幅広い団体に委託し、  
住民サービスの向上と経費削減等を図ることが目的

平成27年第4回(12月)定例議会の報告をさせていただきます。

# 電子黒板等 / ICT教育について

はしもと 坪井小学校と古和釜中学校のモデル校に

電子黒板やタブレット端末・デジタル教科書が導入

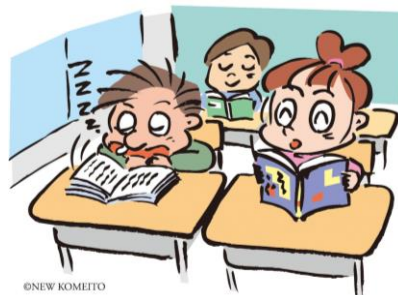
され、授業の活用方法や効果の検証が開始されま

した。現在、国では未来の人材を育成するために、

教育改革を進めています。中でも、「新しい学び」への授業改革は、プレゼンテ

ーション、対話・討論、観察・実験を重視した授業の実施が求められています。

今までの「知識・技能」だけでなく「思考力・判断力・表現力」さらには「主体性・多様性・協働性」といった、これからの時代を生きていく子供たちにとって必要不可欠なものです。



「主体性」⇒子供たち一人ひとりが自立して、主体的に生きるということ

「多様性」⇒異なる背景を持つ多様な人たちが、互いに認め合って生きるということ

「協働性」⇒多様な人たちが協力して生きていくということ

これらを受けて、2020年に大学の入試制度が、教科の知識偏重のペーパーテストから、「意欲・能力・適性等の多面的・総合的な評価」へ大きく変わります。

はしもと これからの時代を生きていく子供たちにとって必要不可欠な「主体性・多様性・協働性」を身に付ける為に、ICT機器で授業がどのように変わるのか。



学校教育部長 例えばタブレット端末を用いて、お互いの

考えや視覚的に共有することで、グループ内で複数の意見や考えを共有し、話し合いを通じて思考を深めながら、協働で意見整理を行い、電子黒板を使って、個人の考えを整理し伝え合うことにより、思考力や表現力を培い、グループ全体で多様な見方・考え方を共有することもできる。

はしもと 21世紀を生きる子供たち、今の中学1年生以下の子供たちが、必要不可欠なものであり、授業が大きく変わるという事であるならば、モデル校のみではなく、全校に導入してあげなければ不公平だと思う。しかし、実際に授業を行う先生方が、使い方がわからなくては困るので、研修はもちろんのこと、ICT支援員の配置が必要。



欠なものであり、授業が大きく変わるという事であるならば、モデル校のみではなく、全校に導入してあげなければ不公平だと思う。しかし、実際に授業を行う先生方が、使い方がわからなくては困るので、研修はもちろんのこと、ICT支援員の配置が必要。

学校教育部長 効果的に活用して、子どもたち

の情報活用能力の向上を図っていく。

ICT支援員とは  
校内でのICT活用をサポートする人です。  
機器の操作・設定など技術支援と学習支援を行います。(IT関連企業へ委託により配置)



# 緑台保育園の移転建て替え

はしもと 今までの保育園建て替えは、ほとんどが、仮設園を作り、元の場所で、建て替えを行って来ましたが、今回、移転建て替えにした理由はなにか。

子育て支援部長 仮設園舎の建設費用と用地取得費用を比較検討した結果、移



転のほうが経済的であった。工期の短縮や度重なる引っ越しによる園児や保護者の負担を最小限度に抑えることができるため。

はしもと 定員増の考えはないのか。また、駐車場整備は考えているのか。

子育て支援部長 現在と同じ120名の定員。しかし、多目的室を設け、今後の保育需要に対応する。駐車場もできる限り台数を増やす。

はしもと この場所は、スピードを出す車が増え、自治会・学校・PTAと協力をして、対策を取った場所です。工事はもちろん、園児たちの交通事故に十分気を付けるよう要望しました。

\*詳しくは、<http://funabashi.gijiroku.com/>をご覧ください。

はしもと 和子 090-5574-9079

ホームページ [hashimoto-kazuko.jp](http://hashimoto-kazuko.jp)

市政に関するご意見・ご感想をお寄せください。

S.35年生まれ 長野県軽井沢町生まれ 小諸商業高等学校卒業

八十二銀行入行 S.57年より船橋市在住 H.27年より保護司



寒い日が続いています。風邪などひかれませんよう、くれぐれもご自愛ください。